

令和5年度 音声言語機能等判定医師研修会（オンライン研修）実施要綱

1 目的

音声言語・嚥下障害をもつ身体障害者に対する判定、音声言語・嚥下障害患者一般に対する臨床等に
必要な知識と技術を習得させることを目的とする。

2 主催

厚生労働省

3 後援

一般社団法人 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会
日本音声言語医学会

4 期間

令和5年12月6日（水）～12月8日（金）

5 会場

国立障害者リハビリテーションセンター学院よりオンライン開催（Zoomを使用）
（職場、ご自宅等での受講となります。）

6 受講定員

30名

7 受講資格

- ・身体障害者更生相談所又は病院等において、音声言語・嚥下障害のある身体障害者に対する判定
に従事する医師
- ・Web会議ツール「Zoom」を使用してのオンライン研修になるため、PC、タブレット等で受講が
でき、かつ有線LAN・Wi-Fiなど研修会を視聴できる安定したインターネット環境が整って
いること
- ・3日間全講義参加可能なこと

8 研修内容

別紙日程表のとおり

9 研修会費用

6,700円（後納。研修会終了後に納入告知書を送付いたしますので、納付をお願いいたします。）

10 受講手続

受講希望者は当センター学院ホームページ（下記 URL）にアクセスし、申込案内に従いお申し込みく
ださい。

URL：http://www.rehab.go.jp/College/japanese/kenshu/schedule_2023/

受付終了後、申し込みをしたアドレス宛に3開庁日以内に確認メールを送信します。確認メールが届
かない場合は、電話にてお問い合わせください。

11 申込締切

令和5年10月31日（火）17:00

12 受講可否の通知

令和5年11月8日（水）までにご登録いただいたメールアドレス宛に受講可否を通知いたしま
す。なお、期日を過ぎても通知が届かない場合は、下記の連絡先まで電話にてお問い合わせください。

申し込み多数の場合、厳正な選考により、受講可否を決定させていただくこととしております。
（先着順ではありませんのでご注意ください）。

13 修了証書

3日間の研修全日程を修了した方に対し修了証書を授与します。

修了証書は研修会費用の納付確認後、郵送いたします。

なお、遅刻、早退等研修会全日程の参加が確認できない場合、修了証書を授与できないことがありますのでご注意ください。

14 その他

- ①本研修会は、3日間で1つのプログラムを構成しているため、一部のみの受講あるいは一部を除いた受講は認められませんので予めご了承ください。受け付けいたしません。
- ②お申し込みの際はお名前の文字やメールアドレス等、正しくご入力ください。
- ③診療その他の業務と並行あるいは移動しながら受講する等、研修会に集中していないと認められた場合は、研修会に参加しているとは見なされずに修了証書が授与されないことがあります。
- ④受講者の通信環境要因で接続が切れ、研修会全日程の参加が確認できない場合にも、補講などの対応はいたしかねます。
- ⑤本研修会は、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会が定める研修会であり、修了者は「耳鼻咽喉科領域講習」として2単位を取得可能です。なお「耳鼻咽喉科専門医」制度にかかることにつきましては、別途当該学会への手続きが必要となります。
- ⑥研修会の終了時間は、プログラムの進行上延長もしくは変更される場合があります。

【連絡先】

〒359-8555 埼玉県所沢市並木4丁目1番地

国立障害者リハビリテーションセンター学院

TEL04-2995-3100 (内線 2612) FAX04-2996-0966

電子メール kenshu1@rehab.go.jp

URL <http://www.rehab.go.jp/College/japanese/kenshu/>

令和5年度 音声言語機能等判定医師研修会（オンライン研修）日程表

月 日	午 前	午 後
12月 6日 (水)	<p>開講式・オリエンテーション (8:45～9:00)</p> <p>① 音声言語・そしゃく嚥下障害のトピックス (9:00～10:00) 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 理事 香取 幸夫</p> <p>② 失語・高次脳機能障害 (10:10～11:10) 国立障害者リハビリテーションセンター病院 リハビリテーション部 言語聴覚士長 大畑 秀央</p> <p>③ 運動障害性構音障害 (11:20～12:10) 国立障害者リハビリテーションセンター病院 リハビリテーション部 主任言語聴覚士 百瀬 瑞穂</p>	<p>④ 小児吃音のリハビリテーション (13:10～14:10) 国立障害者リハビリテーションセンター学院 言語聴覚学科 教官 坂田 善政</p> <p>⑤ 成人吃音の臨床 (14:20～15:20) 国立障害者リハビリテーションセンター 顧問 森 浩一</p> <p>⑥ 音声言語障害者のコミュニケーションエイド (15:30～16:30) 国立障害者リハビリテーションセンター学院 言語聴覚学科 主任教官 下嶋 哲也</p>
7日 (木)	<p>⑦ 音声障害の外科的治療 (9:00～10:30) Swallowish Clinic 院長 金沢 英哲</p> <p>⑧ 嚥下障害の臨床 (10:40～12:10) Swallowish Clinic 院長 金沢 英哲</p>	<p>⑨ 音声障害のリハビリテーション (13:10～14:10) 県立広島大学 保健福祉学部 保健福祉学科 教授 田口 亜紀</p> <p>⑩ 音声障害者の代用音声 (14:20～15:20) 慶應義塾大学病院 リハビリテーション科 言語聴覚士 小島 一宏</p> <p>⑪ 嚥下障害のリハビリテーション (15:30～16:30) 慶應義塾大学病院 リハビリテーション科 言語聴覚士 小島 一宏</p>
8日 (金)	<p>⑫ 器質性・機能性構音障害（小児） (8:50～9:50) 国立障害者リハビリテーションセンター病院 リハビリテーション部 主任言語聴覚士 平野 千枝</p> <p>⑬ 言語発達障害の評価と対応 (10:00～10:45) 国立障害者リハビリテーションセンター病院 リハビリテーション部 主任言語聴覚士 田中 里実</p> <p>⑭ 言葉発達遅滞と精神科疾患 (10:55～11:40) 国立障害者リハビリテーションセンター病院 第三診療部児童精神科 医長 金 樹 英</p> <p>⑮ 音声言語・そしゃく嚥下障害の意見書記載 (11:50～12:50) 国立障害者リハビリテーションセンター病院 副院長 石川 浩太郎</p> <p>・閉講に関する事務案内・挨拶 (12:50～13:00)</p>	

※講師の都合等により、内容等に変更があり得ますので、あらかじめご了承ください。